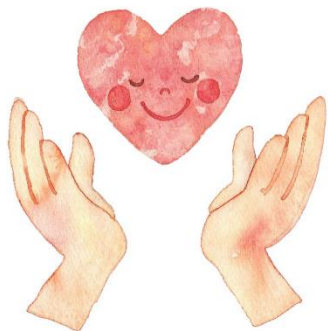


いちはやく



# 189 知らせて守る こどもの未来

～11月は児童虐待防止推進月間です～

## 子育ての

つい

思わず

仕方なく



うっかり

## ありませんか？

親は、

つい・・・

仕方なく・・・

のつもり。

例えば、

- ◆言葉で注意しても聞かなかったから、叩いた。
- ◆大切なものにいたずらをしたから、罰として長時間正座をさせた。
- ◆約束を守らなかったなので、夕食を与えなかった。

でも!… これらはすべて、「体罰」です。



親は、

思わず・・・

うっかり・・・

のつもり。

例えば、

- ◆やる気を出してほしくて、兄弟と比べてしまった。
- ◆冗談交じりに「お前などいない。」「生むんじゃなかった。」など、子ども存在を否定することを口にした。

でも!…「子どもの心を傷つける行為」です。





子どもにとって親の存在は親が思っている以上に大きいものです。  
親にとっては「つい」「仕方なく」「思わず」「うっかり」おこなった行為や言葉  
であっても、子どもの体や心が傷つきます。そして家庭という密室の中で、  
いつの間にか日常化し次第にエスカレートしていく危険性もあります。

#### 体罰等がもたらすもの＝

体罰等が子どもの成長・発達に悪影響を与えることは科学的にも明らかになっています。繰り返されることで、子どもの精神的な発達にも影響を与えます。強い攻撃性や反社会的な行動を起こす、他人との良好な関係性が気づきにくい等、成人後にまでその影響が及ぶことが報告されています。

#### 体罰は、子どもに暴力的な言動のモデルを示すだけ＝

叩かれたり怒鳴られたりすると、大人への恐怖心から一時的に言うことを聞くかもしれません。しかし次第に解決のために暴力を使うことを覚えていきます。

#### 家庭が安心できる場所(自分の居場所)にならない＝

保護者に恐怖心を抱くと、信頼関係を築きにくくなります。その為、悩みや心配事があっても打ち明けられず、対人関係上のトラブル、非行、犯罪被害に巻き込まれるなどの問題が起こりやすくなる傾向があります。

## 「知らせることが、子どもの未来を守る！」

見守る地域の目が、子どもの虐待を見逃さない地域に繋がります。

「夜、子どもが外にいる。」「子どもの泣き声がいつまでも続く。」「夫婦喧嘩が頻繁。」「清潔な身なりをしていない。」等々・・・「おかしいな？」  
「だいじょうぶかな？」と感じたら、下記へ連絡しましょう！

**連絡・通報・相談ができます！ 通報は匿名でも大丈夫です。**

#### ★児童相談所全国共通3桁ダイヤル

いちはやく  
**1 8 9**

\*お近くの児童相談所に

つながります



#### ★奥多摩町子ども家庭支援センター

◎平日 午前8時30分～午後5時15分  
(相談専用電話) 0428-85-1788  
(相談専用アドレス)

E-mail:kikorin@town.okutama.tokyo.jp



発行:奥多摩町子ども家庭支援センター

TEL: 0428-85-2611 令和2年11月